津山ファミリー・サポート・センターは、子育て中の家庭を地域で支え合う有償のボランティア活動です

津山ふぁみ・さぽミニ通信

No.66 2021/2月

新型コロナウイルスの流行により、想像もしなかった不安で不自由な生活を送ることになって1年以上が過ぎました。その上、厳しい寒さも加わり、身も心も縮こまるような今年の冬でしたが、ファミ・サポの会員の方からは元気が出るお話を伺いました。

保育園児の兄弟を時々預かってくださる提供会員さんのお話、「二人を見ているとかわいいいいのはもちろんだけど、預かる度に成長していくようすにはびっくりさせられるし、とても興味深いの。だから、これから保育の勉強を始めてみようかと思っているのよ。」とのこと！その前向きな姿勢には感心させられました。さらなるパワーアップを私たちアドバイザーも応援しています。

今のような気が滅入りがちなときこそ、楽しいことすてきなことをみつけられると良いですね。

中面の**「会員のページ」**のみなさんのエピソードでもお楽しみください。

津山市が行っているファミリー・サポート・センター事業を圏域で活用しようと、令和元年7月に最初に鏡野町が仲間入り、翌年4月から久米南町、美咲町が加わりました。会員登録は、センターや各町役場でできます。

津山ファミリー・サポート・センター
力を合わせて子育て世帯の手伝いを！

鏡野町
（保健福祉課）

ファミ・サポの活動に参加して1年7ヶ月が過ぎました。

当初は会員も数名で、依頼内容も送迎のみでしたが、今ではサブ・リーダーさんも誕生し、会員数26名、送迎だけでなく預かりでの利用も頼まれます。

核家族が増加している中で、近隣に頼れる家族などがいないご家庭も増えています。仕事や家事・育児に奮闘しているご家庭に利用いただけるよう、今後もファミ・サポの周知広報をしていきたいと思っています。

美咲町
（教育委員会）

美咲町では、広報誌で会員を募集したり、小さな集まりで提供会員募集の説明会を開催しています。町の担当課としては、依頼会員のニーズに応えるためには、各地区に多くの提供会員がおられることが安心につながると考えます。そのため、提供会員への登録が各地域で浸透し、ファミ・サポの認知度を高めることが必要と考えます。また、さまざまな機関と共に依頼会員を支えることで、子育てにおいて親を孤立させないようにサポートしていきたいと思います。

久米南町
（保健福祉課）

久米南町では、当初なかなか登録がなく、「ふぁみ・さぽミニ通信」で皆さんの活動を拝見するだけでした。

依頼会員さんの登録があったのちには、同じ町内で提供会員さんをお願いしたところ快く引き受けていただき、とても感謝しています。

引き続き、ファミ・サポ事業によって、地域の中でお互いに助け合い関わり合うことができるよう、センターのアドバイザーさんと協力していきたいと思います。

交流会の報告

令和３年１月 13 日「**マスク姿でも好印象！**」と題し、講師に**髙橋　れい**さん（日本ボイスマネジメント協会代表）をお招きして、「さん・さん」と共催したこの交流会は、始終参加者の笑いにあふれていました。

コロナ禍によりマスク着用が日常となる中、相手の表情がよみとれなかったり、声が聞き取りにくかったりしますが、発信する側が目や眉毛をしっかり動かし、うなずく時も顎を一度上げ大きく首を下ろすと相手に聞いていると伝わること、また、呼吸法を上手に使った発声の仕方のこつも教えてもらいました。

感想

- 目の表情、声の出し方でこんなに印象が変わると驚きました。
- 話すことが苦手な人でも、声を鍛えることで好印象の良い声で自信が持てるとわかりました。
- 声が変わると印象だけでなく、その人自身も明るくポジティブになると思いました。

講習会の報告

令和２年 11 月 15 日　　子育てサポート講習会

「知っておきたい子どもの病気と対応のしかた」

講師：**松尾　直光**さん　　河原内科・松尾小児科クリニック院長

子どもの病気について、発熱、咳、嘔吐、引きつけ、アレルギーなど多くの症状や手当の仕方、予防接種について、また、メディアが子どもに与える影響や、子どもの事故予防についてのお話など幅広いものでした。さらに、サポート活動においてもお世話になっている病児保育室についてのお話や、今回はコロナウィルス感染症についての内容も加わり、２時間では足りないくらいでした。

感想

- **幅広く病気のことを知ることができてとても勉強になりました。また、ワクチンやコロナウィルス感染症のことなどの最新情報を知ることができました。（30 代）**
- **熱が出て病院に行く前にどういうところを観察すれば良いか、主にどんなリスクがあるかを詳しく教えていただき勉強になりました。（30 代）**
- **幅広い内容で学ぶことができ安心して子どもさんと関われる気持ちになりました。（60 代）**

令和３年１月 20 日　　子育てサポート講習会

「子どもの発達に応じた食事」

講師：**湯浅　貴恵**さん　（津山市健康増進課栄養士）

「子どもの発達と食べ物の関係」「おやつについて」「体調が悪いときの食事」「家庭備蓄のすすめ」等について、資料を提示しながらわかりやすくお話をしていただきました。さらに、食について保護者等から寄せられ悩みの紹介もあり、参加者はそれぞれの立場で多くのことを学ばれたようでした。また、「クックパッドの津山市キッチン」で子どもの食事情報が発信されているとのお知らせもありました。

感想

- **資料や実際の食事のサンプルが用意されていて理解が深まりました。好き嫌いは味だけの問題ではなく、切り方や食べやすさも関係していることがわかりました。（30 代）**
- **歯の生え方や成長による舌の動きの変化などに応じて食材や調理を工夫することも勉強になりました。繊維の断ち切り方で食感がどんな風に変わるのか試してみたいと思います。（20 代）**
- **20 年前からするとかなり事情が変わっていると気づかされました。（50 代）**

会員のページ

講習会や、顔合わせ、ミニさろんでセンターに来られた会員さんに、最近嬉しかったこと、感動したこと、心に残ったこと等をお尋ねしました。

子どもたちと一緒に寝る前に、今日一日の中で良かったこと、嬉しかったことを２つ言い合うことにしています。

そこで、それぞれの嬉しかったことを聞くことができるので、就寝時にはなんだかほっこりした気持ちになり、今日も１日 Happy だったなあ～と思えます。

（依頼会員　30 代）

先日テレビで秘境に住んでいる方をロケする番組を見てとても感動しました。

岐阜県長良川の源流近くに住んでいる高齢のご夫婦が、天然記念物の傷ついた子どものニホンシカを保護して育て、回復した後、山に帰す時には泣く泣く別れたと言う内容。「フク」と名付けられたシカは、その後 10 年以上山に住み、死ぬまで山から下りて来てはそのご夫婦を見守り続けたそうです。

動物に愛情を持って関わる大切さを改めて感じた番組でした。

（鏡野町　提供会員　60 代）

何年かぶりにサポートを頼まれ、時々小学 6 年生男子の送迎をしています。車内で過ごす時間は、わずか 10 分ほどですが、大変礼儀正しいお子さんで、いつも「ありがとうございます」のあいさつが気持ちよくて嬉しくなります。

学校での行事のことを聞かせてくれたり、別の提供会員さんの名前も出てきたり会話はつきません。

時々するこのサポートを楽しみ、やりがいを感じています。

（提供会員　60 代）

コロナ禍で「おうち時間」が増えたので、20 年ぶりくらいにミシンを触りました。とても楽しくて新たな趣味となりました。

家族や友人にマスクやポーチ等を色々作ってプレゼントすると喜んでもらえたので、私も嬉しくなりました。

（提供会員　30 代）

最近、同じ職場の人に誘われ、“ピックルボール”を始めました！

年齢が上がるのに伴い動くことがおっくうになっていましたが、汗を流す爽快感とピックルボールの楽しさを味わっています。練習には娘と夫と参加しています。

子どもが大きくなるにつれ、親子で一緒に何かをする機会が減ってきていましたが、こうやって子どもと同じ趣味を持って一緒にできることにとても喜びを感じています。

（依頼会員　40 代）

子どもたちのおばあちゃんの誕生日。今まではプレゼントやケーキを私が準備していたのですが、今年は 4 歳の長女が考え、2 歳の二女も一緒に作ってくれました！

プレゼントは、紙ねんどやビーズで作ったカラフルミニミニカップケーキ。

ケーキは、チョコやイチゴで可愛くデコレーションした（こちらは食べられる）カップケーキ。

一緒に作る喜びと子どもたちの成長を感じられる幸せな時間でした。

もちろんおばあちゃんは今までで一番喜んでくれました。

（依頼会員　30 代）

アドバイザーのふぁみばなし

美作大学短期大学部幼児教育科の学生向けにファミリー・サポート・センター事業について話しました

① 授業の担当教官は、前年度、サポート講習会で「保育の心」について講師をお願いした萬代芳子さん。先生の保育園勤務時代からファミ・サポとはご縁があったのね。

② 当日は最初に、デモンストレーション代わりに、いつも使う大型の手作り「PR ブック」で、アドバイザーとアンパンマンの掛け合いで大まかに説明したわね。

③ 学生さんたち、熱心に見てたわね。興味を持ってもらえたみたい。その後、設立の経緯や事業の趣旨、20 周年を迎えた津山ファミ・サポの現状など 1 時間、二人で話したのよね。

④ 人と人を仲介する役目の私たちが紹介した提供会員さんに、**依頼会員さんが信頼して子どもさんを預けられること。**

⑤ **また、その依頼会員さんの信頼に応えようとサポートしてくださる提供会員さんがおられること。**
それでこの事業が成り立っていることを学生さんたち、わかってくれたかしら？

⑥ 幼児教育をめざす学生さんたちにこの思いが是非、届いていますように！

おしらせ

「ミニさろん」 開催中

毎月第 4 水曜日　10：30～12：00
アルネ・津山 5 階「さん・さん」和室

- どなたでも気楽に立ち寄り楽しめるサロンです
- いつ来て、いつ帰ってもＯＫです
- サブ・リーダーさんが温かく迎えてくださいます

末子の子どもさんが今年小学校を卒業される依頼会員の方に、3 月末で退会されるか、提供会員に変更されるかをお尋ねします。
またそれ以外の方でも、住所、電話番号、入園、入学、転出、退会等の変更がある方はお知らせください。

＜お問合せ＞　津山ファミリー・サポート・センター　TEL:0868-31-8753
〒708-8520　津山市新魚町 17 番地　アルネ･津山 5 階「さん・さん」内
■開館時間　月･水～金　10:00～19:00　土・日　10:00～18:00
■休館日　毎週火曜日・祝日･年末年始
会員数　1,052 人（依頼会員：524 人　提供会員：486 人　両方会員：42 人）　令和 3 年 1 月 31 日現在